

# Smart City Takeshiba (竹芝Marine-Gateway Minato協議会)

## ■ 都市課題

三方が水辺に囲まれ、周辺を幹線道路が通っていることによるエリアの回遊性

## ■ 解決方策

デジタルエリアマネジメントツールと舟運、シェアサイクル等のモビリティ、域内施設が連携したサービスの提供により行動変容を促す

## ■ K P I

- ・交通事業者、域内施設との連携：5事業者、6施設
- ・エリアイベントとの連携数：2件
- ・利用者満足度：80%

## ■ 実証実験の概要・目的

既設の**エリアマネジメントツールと地域交通、域内施設と連携したサービスをパッケージで提供**することにより、エリア課題である回遊性の向上を図るとともに、利用者データを取得し、施策を重ねることで**地域に応じた回遊サービス**の提供の実現を目指す。

## ■ 実証実験の内容

### ① LINE、NFCタグを用いたサービスの提供、データの取得

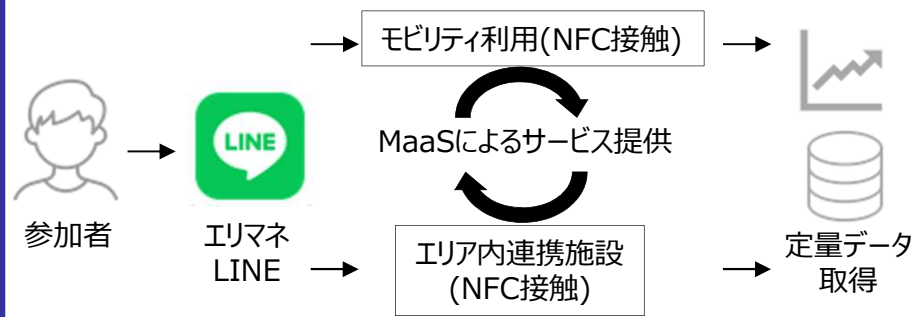
- ・実装済の竹芝エリアマネジメントLINEアカウントを活用して、モビリティサービスと接続する共通UIを構築。
- ・NFCタグを域内施設、モビリティのスポットに設置した回遊施策(デジタルスタンプラリーを通じたインセンティブ付与)を実施することで回遊性のデータを定量的に取得。

エリア内に設置したNFCタグ→



### ② 地域交通、域内施設と連携したサービスの提供

地域交通に加えて集客施設と連携し、回遊を促す環境をモビリティサービスと合わせてパッケージで提供。



## ■ 実証実験で得られた成果・知見

- ・回遊に伴うエリア優待付与により、行動変容を誘発することが確認された。  
実証参加者：1,051名、利用者満足度：92%
- ・エリア特性である舟運との連携により、三方を水辺に囲まれているながらも、他地域からのエリア流入が確認された。
- ・実証後、竹芝エリアを回遊する動機づけとして求めるものをアンケートにて確認し、店舗や商業・観光施設と連携したインセンティブを求める声が多く、今後の実装フェーズにおける連携先として選定予定。
- ・交通の特性はエリアにより異なるものの、低コストかつ簡易的な仕組みで回遊性向上が実現できることが判明した。

## ■ 今後の予定

~2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
共通UI開発 実証	回遊性向上施策の継続実施 連携施設/モビリティの拡大		施策の 横展開